



築港地域は、年間250万人が訪れる大阪を代表する集客施設・海遊館があり、歴史的・文化的施設も豊富、天保山岸壁には外航客船の観光客も多く上陸しますが、長年人口の減少と流出が続いています。

この状況を打破するため、この度「築港・天保山まちづくり計画」を策定しました。従来と違うのは、「観光集客数を増やす」視点だけでなく、楽しく「暮らす」「働く」「稼ぐ」環境づくりに力点を置いたことです。築港の衰退の大きな要因は、何万人という訪問者に素通りされていること。大切なのは観光客が「何人来たか」でなく「何人に地元のお店でお金を使っていたか」です。素通りさせない受け皿づくり、「探しても行きたい面白い店や場所」を増やします。住んでいる人にとっても、毎日好きな場所や店をそぞろ歩いて楽しむ、そんな日常があるまちを目指すことを「毎日が宝探し」というコンセプトで表現しました。

既にまちを盛り上げる面白いアイデアを持った人々が動き始めています！目に見えて楽しく変わっていく港区のまちづくりに引き続きのご支援をお願い申し上げます。

港区長 筋原章博